恵みと真理のニュース

2011 年 7 月　恵みと真理教会
大韓民国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］　豊かな恵みを施してくださり、ありがとうございます。

私は不信仰家庭で生まれ育ちましたが 1982 年にキリストを信じる家庭で育った男性に出会って結婚しました。主人の家は 3 代目の信仰生活を続ける家庭だったから夫も幼いごろから教会学校で聖書を学んで育った人でした。しかし結婚当時の主人は教会に通っていなかった。しばらく信仰の彷徨をしている時期でした。姑は 7 人兄弟で末っ子だった夫が再び信仰生活をするように勧勉して熱心に祈りました。そうする間に姑は重い病気でお亡くなりました。母は死ぬ前に言いました。"私は天国へ入いるから嬉しいが君を天国で会えないと思うとそれが心配だね。急いで教会に出てイエス様を救い主で信じる信仰生活を始めなさい。そうすると天国で私たちはお会いできると思う。すぐ教会に出なさい。"と遺言を末の息子に残しました。
その遺言に従って私と主人は 1986 年から教会に出かけることになりました。

1990 年から主人が重装備事業を始めて富裕な生活をすることができました。
しかし、1997 年 IMF 危機を経りながら大困難に遭い破産して終いました。家と自動車とすべての家庭用器具などは差し押えされました。最後に残った中古フォークリフトを売った金で多世帯住宅に家賃して引っ越しました。その後から家庭経済力は難しくて毎日食事を心配するほどでした。電気や電話,ガスが切られました。日用の糧もなく夫が結婚礼物で持っていた指輪を売って米を買って来ました。主人は破産の衝撃と家庭経済に対する責任感で煩って約 3 ヶ月を門外不出しました。主人が唯一に行く場所は屋上でした。しばらくずつ屋上からいて帰るとまぶたは腫れていました。後で聞いて見たら神様に涙で悔い改めました。そして、今度の苦しみから助けてくだされば,一生を懸けて神様に仕えながら生きますと誓い祈祷を捧げたと言う告白でした。

私どもが住んだ多世帯住宅には恵みと真理教会に通う区域長が住んでいましだ。区域長は私と主人を見るたびに恵みと真理教会へ行こうと伝導しました。神様は事業破産を通して信仰生活を中断した私たちを再び呼んで下さったのです。その以後、主人と話して区域礼拝に参加しました。初めて参加した区域礼拝はとても熱くて恵み溢れる時間でした。問題をおいて皆が一心で切実で熱く祈る姿がとても印象的で恵まれました。まさにその週日曜日にうちの夫婦は恵みと真理教会の礼拝に出席しました。衛生テレビの画面で党会長牧師先生の説教を聞くようになりました。大型画面に映られた党会長牧師様の穏やかな姿に好感が感じられました。礼拝が神神しくて恵み溢れる進行でしたから楽な心で向えることが出来ました。礼拝の後区域長が始めに礼拝を捧げた感想を聞きました。私は感じたそのまま答えました。"説教を聞く時まるでイエスにお会いしたように神神しい感じがしました。内容もとても恵まれたお話でした。"と言ったら区域長はとても喜んでくれました。
こうして私たちは 1998 年から恵みと真理教会の聖徒になりました。

再び信仰生活を始めてから主人は希望を持ち始めました。ある日、主人が五百万ウォンの金があれば中古トラックを買って何かの仕事を始めたいと言いました。私は五百万ウォンの金のため神様に切に祈りました。数日後全然考えなかった保険会社から正確に五百万ウォンの補償金が出ました。そのお金で請求書を払うことが出来ました。その後ガスや電気や電話を使えるようになりました。息の根が開けるようでした。そのお金で米を買いました。中古トラックも購入して保険に加入しました。直ちに主人はリサイクラ-
事業を始めました。

神様が福を注いでくださって良い取引先に出会いました。取引先の会社は主人の誠実とまめやかな努めを認めて持続的に仕事を供給してくれました。ますます多い量の仕事が生じて収入も増えました。本当にありがたく幸せでした。私たちは完全な主日礼拝（毎週日曜日の礼拝を守ってさいあげること）を始めました。傳貰で借り家を得るために祈りました。
1 年ぶりに金額を貯めて傳貰で借りた家に引っ越ししました。私たちは再び祈り始めました。今度は家を下さいと祈りました。1 年ぶりに住んだ家を買う機会を得て、その家を購買しました。祈るたびに神様が正確に回答してくださいまして毎日が夢を見るように幸せでした。一つの祈りが答えられると他の祈りを始めました。広い家を用意して区域長祈り会ができるようにと願い求めました。
4 年後に憧れた広い家を買うようになったし、思いきり区域長祈り会が出来ました。もっと望むのがない位福をくださって、祈りに答えて下さった神様に深く感謝の心を申し上げます。
一方、主人と私は常に難しい時を忘れないように念を押しながら生きています。主人は安定した事業場を経営しています。もし安逸になると過去一番苦しかった瞬間を思い浮かんで神様の愛と恵みに感謝して怠惰にならないように心を引き締めると言っています。私たちを救って下さり難しい瞬間にも一緒になさって、我が家族を命の道に導いてくださった神様を賛美し今後とも謙遜に神様を仕えながら暮します。ハレルヤ

［信仰コラム］　　豊かになる原理

"そもそものある者は受けて豊かになっていない者は、そのいるものまで奪われるであろう"（マタイ25:29）

聖書には誰にでも適用すると同じ結果を得る原理が記されています。その中で最も大きいのは救いの原理です。そして生活の知恵としての原則が多く記録されています。本文のお話は資本主義社会では一般的に表示される現状である富益富、貧益貧の経済論理を語られたのではなく、信仰に関連する霊的な原理です。非常に実際的な原理として逆に言うと、"豊かになるにはある者になりなさい"という言葉です。
ある者は受けて豊かになるという原理が適用された事例をみます。
預言者エリヤの時代にあった事件です。水と餅一切れをくれというエリヤにサルバト寡婦が、"私には餅がなく、ちょうど缶にひとにぎりの粉と瓶にオイルが少しあるだけです。"しています。エリヤは"恐れることは、わたしのために小餅を作って私に持って来て、その後にあなたとあなたの子孫のために作ってください...."としています。女はエリヤの言葉通りにしたところ、その缶の粉が落ちないし、ビンの油も乾かさないようになりました。エリヤ預言者は神の代言者でした。女は神に向かって自分にできることを申し上げたわけで有るものは受けて豊かになる原理が彼女に当ったのです。
新約聖書の中で代表的な事例が五餅二魚の奇跡です。
"あなたがたが彼らに食べ物をくれ"神様の御言葉を聞いて、弟子たちはないことについて報告しました。イエスは"あなたがたにもち、いくつがあるのか行ってみよ。"すると、初めて弟子たちが考えを変えて、有るものを見つけました。一子供が麦餅五つと魚二匹を持っていることをアンドレが話すとイエスはそれを持って来るように要請して天を仰いで祝福し分けて群を食べさせると満腹になって残りのパンくずが十二かごのいっぱい収めました。
"持ってないのを数えなく、あることを神に祈りでささげなさい。そして、主の恵を楽しみで待ちなさい。"という教訓です。
ない者は、そのあるものまで奪われるという原理が適用された事例を探してみましょう。
これは神様に向い不平を言う人々に対する警告の言葉です。このような原則が適用された例えの中で一番目立つ事件はエジプトを離れカナン地へ向って行進するイスラエル子孫でした。持っていた糧が切れると驚くにもマナを天から落してくださいました。涙くむほどの感謝する神秘なことです。それでも、イジプトで食べた物はないと恨んで不平を言いました。結局、彼らは荒野の野原で死にました。夢にも憧れた蜜と牛乳の流れるカナン地に入らなくなりました。"ないものはあるものまで奪われる"と言う原理が彼らに適用されたのです。原理が分かることで止めれば知的驕慢だけ加わります。実践に移さなければならないし、実践するためには念をおして決心しなければなりません。あることを推し量りながら感謝するのが習慣になるまで努力してください。
考えは行動を生んで行動は習慣を生んで習慣は人格を作ります。不足なことは満たして下さいと神様に祈らなければなりません。ただ恨み不平を言って求めるのではなく感謝する心で求めなければなりません。
神様が喜んで満たしてくださるお答えがあるかと言えば,そうではない場合もあります。荒野でイスラエル子孫たちが恨んで不平を言っても彼らの必要を満たしてくださいました。しかし、彼らは神様が嬉しくできなかったしカナン地に入ることができなかったのです。何をくださいと祈る以上に神様がくださったことを推し量りながら感謝する人は聖徒らしい教養と品位が明らかに現われて,ある者にもっとくださる神様の恵みをいただくようになるでしょう。
（チョヨンモク牧師先生の信仰コラム
"青い草、清い川"　本の中から）

耳を傾けるべき警告

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

日本で発生した震度 9 度の地震と 15 メートルの津波、そして原子力発電所の爆発事件などは全世界を驚愕しています。人命と財産にも甚大な被害を受けました。
震害の中でも感動的な教訓を与える話が広まりました。我が国の中央日刊紙に紹介された話です。
海岸へ接した（ふたい）という町は 3 月１１日に起きた約 14 メートル高の津波が襲われましたが高さ 15.5 メートルが越える坊潮堤と水門があったから町の人々は無事に生き残ることが出来ました。

当時にはあまりにも高いお金たったから批判も浴びました。しかし、当時の町長＜和村ゆきえ＞さんは坊潮提の高さを１５メートルを固守しました。理由は、１８９６年と１９３３年の地震で襲った津波で４３９名の命を奪われたからです。和村町長の過去経験が警告教訓で１５メートル以上の坊潮提建設を固守したのが正しかったと今回の事件で明白に現れました。

この話は終りの時代に生きる我々には非常に切実な思いをさせる話です。聖書にはたくさんの警告が記してあります。本日の言葉もその一つです。＜不幸な者たちです。彼らは「カインの道」をたどり、金もうけのために「バラムの迷い」に陥り、「コラの反逆」によって滅んでしまうのです。と言う警告のメッセージです。本日、私は皆さんと一緒にこの３人に関する聖書の記録を調べて彼らがなぜ、どうして外れたか詳しく分かって教訓を得ようとします。それで、同じ罪を犯さないように願い求めます。

第一、不幸な者たちです。彼らは「カインの道」をたどりと言いました。

さて、アダムは妻エバを知りました。彼女は身ごもってカインを産み、彼女はまたその弟アベルを産みました。アベルは羊を飼う者となり、カインは土を耕す者となりました。時を経て、カインは土の実りを主のもとに献げ物として持って来ました。アベルは羊の群れの中から肥えた初子を持って来ました。主はアベルの捧げ物は受けましたが、カインの捧げ物は受けなかった。カインは悔しい思いで顔色も変えるほど怒りました。カインは弟アベルを襲って殺しました。

カインの捧げ物とアベルの捧げ物が話してくれる異る点は何でしょうか。いけにえとは人間が自分の出世や幸福のため絶対者への賄賂を捧げる行為ではありません。聖書で教えるいけにえは神様が定めた制度で犯罪を犯した人間が神の前に出て謝罪の恵みを受け和解出来る方法です。このいけにえの制度は人類束縛の主体なるイエスキリストと働きを象徴します。すべての贖罪いけにえはイエス様の贖罪の働きを予告する＜血流し＞があるべきでした。
新約聖書ヘブライ 9 章 22 節の記録は**『こうして、ほとんどすべてのものが、律法に従って血で清められており、血を流すことなしには罪の赦しはありえないのです。』**
『けれども、キリストは、既に実現している恵みの大祭司としておいでになったのですから、人間の手で造られたのではない。すなわち、この世のものではない、更に大きく、更に完全な幕屋を通り、雄山羊と若い雄牛の血によらないで、御自身の血によって、ただ一度聖所に入って永遠の贖いを成し遂げられたのです。』（ヘブライ９：１１−１２）

アベルはこの贖いの恵みと真りを信じる信仰で捧げ物を捧げたのです。ところがカインはどういう訳かこれを無視しました。彼は神様が啓示してくれた贖いと救の道を無視して自分の考え、自分の主張で行動したのです。こんな行為は一番悲劇的な霊の外れです。
罪を許される道、救われる道はただ一つだけです。この道は人が造ったのではないし、造ることも出来ません。神様が与えた道,ただ一つだけです。イエスは言われた。**『わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。』**（ヨハネ１４；６）
イエス様の弟子ペテロは御霊に満たされて民の議員、また長老の方々すべての民衆たちの前で**『ほかのだれによっても、救いは得られません。わたしたちが救われるべき名は、天下にこの名のほか、人間には与えられていないのです。』**（使徒行伝４；１２）
世の中には多様な思想、哲学、宗教がありますが救いの道はただ一つだけです。
悪魔が蛇を遣わしてエバを惑ったように世の中の高尚な思想、哲学、宗教などで惑わし滅ぼします。この道がすなわち、カインに従った道なのです。
大勢の魂を外れるようにする宗教統合、宗教多元主義、混合主義、包容主義の声に傾けなく警戒して受け取るなと教える警告に耳を傾けて下さい。カインの道に従う者には災いが与えるのです。

第二、『バラムの迷い』に陥りとしました。

イスラエル民は神様の助けでエジプト王のパラオを屈服させ、神様が彼らの先祖に誓ったカナン地へ向かい進めました。
紅海を陸地のように渡って荒れ野を行進しました。彼らを敵対するアマレク軍隊と戦って勝ち抜け、アモリ人の王シホンとバシャンの王オグの軍隊を滅ぼしながら進行しました。
イスラエル民はいよいよ荒れ野の放浪生活を終え、エリコに近いヨルダン川の対岸にあるモアブの平野に宿営した。
これを見たモアブの民は恐れを抱いてミディアン人の長老たちに、**『今やこの群衆は、牛が野の草をなめ尽くすように、我々の周りをすべてなめ尽くそうとしている』**と言った。（民数記２２；４）
モアブ民族の王バラクはこの異邦予言者バラムを遣わして主の名でイスラエルを呪う計略を企みました。破竹のいきおいで敵を追い払うイスラエル軍兵の行進を止める一番効果的な方法と判断しました。
バラク王はバラム予言者を招くため長老たちを送って、宝物も備えました。どころがバラムは拒絶しました。バラクはもう一度、前よりも多くの,位の高い使者を遣わした。あなたを大いに優遇します。あなたが言われることは何でもします。と要請するとバラムはその惑いにだまされ屈服しました。

バラクはバラムが来たと聞くと、国境沿いのアルノン河畔にあったモアブのアルまで行って迎えた後、バラムを伴ってバモト.バアルに上った。ピスガの頂の所に連れて行き、ペオルの頂に移しながら呪うように頼みましたがイスラエルを呪えるのは無駄でした。

バラクは激しく怒り、手を打ち鳴らしながら欲しがる心で迷ったバラムは別れの前にイスラエルを破れる他の計略をバラクに教えた。それはイスラエルの男子を神殿へ招さ接待する過程を通して偶像崇拝に掛かり合う計略でした。

この計略は当たってイスラエル民は神の懲らしめで伝染病にかかって 2 万 4 千人が死亡しました。
しかし、主の仰せになってイスラエル軍隊がミディアン人を襲い報復しました。その時バラムを殺した。
バラムは＜不義の道＞を選んで＜外れた道＞を歩んだのです。
バラムは世の地位と財物に慾が強かったから誘惑にはまって神様の言葉に従う正しい道を捨てました。
世の地位、名誉、財物に慾が強くて＜外れる道＞を歩む者は悲しく嘆いて泣く日がいつかは近寄ってきます。バラムの道へ歩んで行く者は必ず不幸が与えてきます。その終りはいつも滅びです。

第三、『コラの反逆によって滅んでしまうのです。』としました。

『 さて、レビの子ケハトの孫でイツハルの子であるコラは、ルベンの孫でエリアブの子であるダタンとアビラム、およびペレトの子であるオンと組み、さて、レビの子ケハトの孫でイツハルの子であるコラは、ルベンの孫でエリアブの子であるダタンとアビラム、およびペレトの子であるオンと組み、彼らは徒党を組み、モーセとアロンに逆らって言った。「あなたたちは分を越えている。共同体全体、彼ら全員が聖なる者であって、主がその中におられるのに、なぜ、あなたたちは主の会衆の上に立とうとするのか。』　（民数記１６：１−３）
コラはモーセとアロンに逆らって地位と権威に挑戦して徒党を組みました。
神はこの事について裁いて罰しました。

『地は口を開き、彼らとコラの仲間たち、その持ち物一切を、家もろとも呑み込んだ。彼らと彼らに属するものはすべて、生きたまま、陰府へ落ち、地がそれを覆った。彼らはこうして、会衆の間から滅び去った。』（民１６：３２−３３）

『反逆にともされた会衆の指導者らは火が主のもとから出て、香をささげた二百五十人を焼き尽くした。』（民１６：３５）

この事件を見てモーセとアロンを恨んだ民は伝染病が発生して 14、700 人が死亡しました。
一つ驚くべきなのはコラの息子はモーセの話を聞いて反逆に荷担しなかった。神様の委任権威を見通したのです。後日、彼らは聖殿で賛美の任務を努め彼らの詩は聖書の詩編に載せる栄光を受けました。

コラの悖逆は何ですか。高慢な霊になって神様が与えた大事な職分をおろそかに思い,身に余る要求をしました。神様がモーセとアロンに委任した権威に挑戦して反逆したのです。神の国の秩序を混乱させて、委任した権威を無視する行為は神様の懲らしめをもたらす外れです。

モーセとアロンが神様の掟を拒む何かの不義や不法を犯したら、抗議と非難を浴びるのは間違ってません。当然に非難を受けるべきです。
しかし、コラは神様がモーセとアロンに与えた指導者の権威に挑戦して反逆をたくらみました。コラの悖逆に従う事のないようにせよと教える警告に耳を傾けて下さい。コラの道は不幸が必ずある、その終りは滅びに至るからです。

『不幸な者たちです。彼らは「カインの道」をたどり、金もうけのために「バラムの迷い」に陥り、「コラの反逆」によって滅んでしまうのです。』（ユダ１；１１）
本日、我々が顧みた言葉は信仰の外れを予防する警告文です。愛する皆さんはこの警告の言葉に耳を傾けて幸な人と呼ばれ、常に救の恵みで生きる聖徒になるのを祝福いたします。アーメン。